

50 地域営農確立への課題

福島県農業試験場経営部・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 農業経営－農業経営－地域農業計画 分類コード 15－01－57606175

2 担当者 渡辺有策

3 要 旨

大区画ほ場整備が行われた会津高田町八木沢地区において、湛水直播栽培技術を導入した高生産性水田営農モデルを効果的かつ現実的に運営するための仕組み(地域営農システム)を構築する場合の集落段階における課題を抽出した。

(1) 水田営農モデルは、湛水直播の担い手組織である作業受託組織が借地による経営体となって、地域の全水田を湛水直播と転作により経営する場合を想定した。

(2) この地域営農システムを構築するためには、合意形成と土地利用調整を行うための地区内の関係する農家全員を構成員とする集落組織が必要となる。八木沢地区において直播栽培の推進を主目的として設立された集落組織である「21八木沢稲作組合」は、関係農家全員が構成員となっているものの、転作関係の調整機能を有していないことから、転作調整機能を付加する機能強化が課題と考えられた。

(3) 水田営農モデルに基づき営農を行う経営体は、今後、地区全体の意向や営農形態、担い手の状況(労働力、機械装備等)等を踏まえながら、既存の作業受託組織の連携や再編成等により創出されるものと考えられた。

(4) 土地利用調整に付随して契約や作業料金の精算、作付配分等かなりの事務量発生が予測されるため、これらの事務処理等をJA(農地保有合理化法人)等専門機関・団体へ委託するなど、集落組織の土地利用調整機能を補完するシステムを構築していくことが 課題と考えられた。

4 主な参考文献・資料

(1)平成11年度春夏作試験成績概要(農業経営)